

社 会

社会科の目標は、社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、(広い視野に立ち、) グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を養うことである。目標に迫るために、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱に沿った資質・能力や学習過程が、相互に関連し合いながら一体となって働く授業改善が重要である。* ()は中学校

【小 学 校】

1 社会科の指導の重点

- ・ 地域や我が国の社会生活について理解するとともに、社会的事象に関する情報を集め、読み取り、まとめる技能を身に付ける。
- ・ 社会的事象の意味を様々な角度から考え、自らが社会とどう関わるかを判断する力やそれを適切に表現する力を身に付ける。
- ・ よりよい社会を目指して主体的に取り組む態度や広い視野から地域や国土、世界との関わり方を考える姿勢を育てる。

第3学年

(1) 自分たちの市町村を中心とした地域の社会生活について理解を深める指導を充実させよう

自分たちの住んでいる身近な地域の様子を観察・調査したり、白地図や年表にまとめたりする活動を通して、市町村の様子や県内における位置、移り変わり等を理解する。また、地域の人々の生産や販売、安全を守るための関係機関に関する学習では、仕事に携わる人々の仕事の様子や工夫を理解し、見学・調査したり、資料で調べたりできるようにする。

(2) 社会生活の維持、安全に努めている姿について考える指導を充実させよう

自分たちの住んでいる身近な地域の学習では、市町村の地形や土地利用、交通の広がりや市役所等、主な公共施設の場所や働き等に注目して、場所によって人々の生活の様子に違いがあるかを考えさせる。また、地域の生産や販売、安全を守るための関係機関に関する学習では、販売者や消費者における願いや工夫、また関係機関の連携と人々の生活と関連付けて考えるようにする。

第4学年

(1) 自分たちの県を中心とした地域の社会生活について理解を深める指導を充実させよう

自分たちの県や特色ある地域の学習では、愛知県の位置、県全体の主な産業の分布、交通網や主な都市の位置等に注目して、地図帳や各種の資料で調べ、白地図等にまとめる活動を通して、愛知県の地理的環境の概要について理解を深めるようにするとともに、47都道府県の名称と位置を理解できるようにする。

(2) 地域の社会生活の維持と向上に努めている人々の姿について考える指導を充実させよう

人々の健康や生活環境を支える事業に関する学習では、文章で記述したり、白地図や図表等にまとめたことをもとに話し合ったりすることで、各事業が果たす役割について考える。また、自然災害から人々を守る活動については、過去に発生した地域の自然災害、関係機関等に注目して、その働きを考えるようにする。

第5学年

(1) 我が国の国土や自然と国民生活との関わりについて理解を深める指導を充実させよう

我が国の国土の様子や自然環境と国民生活との関連について、地図帳や地球儀、資料等で調べ、まとめることを通して、我が国の国土の地形や気候の概要、人々は自然環境に適応して生活していることや、自然災害から国土を保全し国民生活を守るために国や県等が様々な対策や事業を進めていることについて理解するとともに、我が国の国土に対する愛情を育てる。

(2) 我が国の産業が国民に果たす役割について考える指導を充実させよう

我が国の食料生産や工業生産の学習については、それぞれの種類や分布等に注目して概要を捉え、国民生活に果たす役割を考える。また、我が国の産業と情報との関わりについて、情報の種類や情報を発信するまでの工夫や努力に着目し、放送や新聞等の産業が国民生活に果たす役割を考え、表現する。

第6学年

(1) 我が国の政治と異なる文化や習慣に対する理解を深める指導を充実させよう

日本国憲法は国家や国民生活の基本を定めていることや、現在我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考えに基づいていることを理解する。また、世界の中でつながりの深い国の人々の多様な生活、異なる文化や習慣を尊重し合うことの大切さを理解する。

(2) 我が国の伝統や文化についての理解を深め、尊重する態度を育てる指導を充実させよう

我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、多角的な思考や理解を通して大まかな歴史を理解できるようにする。そして、関連する人物の願いや働き、文化遺産の意味等を考え、我が国の歴史に対する興味・関心や愛情を育てる。

2 主体的・対話的で深い学びを引き出す社会科学学習指導

学習の問題を追究・解決する活動を通して、公民としての資質・能力の基礎を養う

主体的な学びに向けて

- 児童が、単元や本時で見通しと振り返りをもって学習に取り組めるようにしよう。
- 児童の興味・関心を生かし、児童自らが問題を見付けられるように単元構想を工夫しよう。
- 児童が自主的・自発的に学習を進めていけるように指導過程を工夫しよう。

対話的な学びに向けて

- 自分の思いや考えをいかに表現するかを、児童自身によく考えさせよう。
- 個を生かすグループ学習や個別学習等、多様な学習形態を工夫しよう。
- 様々な場面で児童相互の話し合いや討論等の活動を一層充実させよう。

深い学びに向けて

- 社会的な事象を「位置や空間的な広がり」「時期や時間の経過」等に注目して捉え、比較・分類したり総合したり、地域の人々や国民生活と関連付けたりさせよう。
- 社会的な見方・考え方を働かせて、社会的な事象の特色や意味を考えたり、社会に見られる課題を把握して社会への関わり方を選択・判断したりさせよう。

評価を次の学習につなげる

- 指導目標を明確にし、分析的な観点別評価を重視した評価規準や評価方法を具体化しよう。
- ノートやワークシート、学習計画表等の記述内容や発言内容を把握する等、児童の学習の状況を的確に評価できる評価方法を選択するとともに、評価の時期や場面についても工夫しよう。
- 児童自身が成長を実感でき、学習改善につなげられるように、自己評価や相互評価の方法を工夫しよう。
- 客観的で信頼性のある評価を目指すとともに、評価の結果を学習指導の改善に生かそう。

ICTを積極的に活用しよう

- 情報を「集める」「読み取る」「まとめる」の場面で、1人1台端末、大型掲示装置等を有効に活用し、問題解決型学習の充実を図ろう。

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業の工夫・改善 (小4 ごみの処理と再利用)

身に付けさせたい力等

- ・ 見学、調査やまとめる活動を通して、廃棄物処理事業は、衛生的な処理や資源の有効活用ができるよう進められていることや、生活環境の維持や向上に役立っていることを理解できる。
- ・ 処理の仕組みや再利用、多くの人々の協力等に着目して、廃棄物処理のための事業の様子を捉え、その事業が果たす役割を考え、表現することができる。

活動例 <単元全体を通して、ICTを活用しながら、清掃センターの工夫について考える。>

- ・ 地域にある清掃センターを見学し、インタビューを行う。その際、清掃センターの工夫が分かる様子や職員の方へのインタビューを写真や動画で記録する。
- ・ 調べたり、見学したりした内容を学習支援ソフトを用いてまとめて、発表する。

【中 学 校】

1 社会科の指導の重点

- ・ 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べたり、まとめたりする技能を身に付ける。
- ・ 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらをもとに議論したりする力を身に付ける。
- ・ よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚等を深める。

地理的分野

(1) 世界と日本の地域構成の基本的な枠組みを理解したり、世界の諸地域や我が国の国土に関する地理的認識を深めたりする学習を充実させよう

我が国の国土及び世界の諸地域について、広い視野に立ち、地域に関わる諸事象や特色を理解するとともに、課題の解決に向けて情報を適切に収集したり、地図等を活用して情報を読み取ったり、情報を地図等にまとめたりすることができるようにする。

(2) 地理的な見方・考え方を働かせて、考察したり、構想したりする学習を充実させよう

地理に関わる事象の意味等について、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用等に注目して、多面的・多角的に考えたり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを表現したりすることができるようにする。

歴史的分野

(1) 我が国の歴史の大きな流れを各時代の特色を踏まえて理解できる学習を充実させよう

政治の展開、産業の発達等について、他の時代との共通点や相違点に着目して、各時代の特色を踏まえて、我が国の歴史を大きく捉えるとともに、課題の解決に向けて資料から情報を収集したり、読み取ったり、まとめたりすることができるようにする。

(2) 歴史的な見方・考え方を働かせて、考察したり、構想したりする学習を充実させよう

歴史に関わる事象の意味等について、時期や年代等に着目して、多面的・多角的に考えたり、複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを論理的に説明したり、他者の主張を取り入れて自分の考えを再構成しながら議論したりすることができるようにする。

公民的分野

(1) 民主政治の意義等を個人と社会との関わりを中心に理解できる学習を充実させよう

個人の尊厳と人権の尊重の意義について、正しく認識し、民主主義の理解を深めたり、個人と社会の関わりを中心に、民主政治の意義等の理解を深めたりする。また、関連のある資料を収集し、必要な情報を選択し分析するとともに適切にまとめることができるようにする。

(2) 現代社会の見方・考え方を働かせて、考察したり、構想したりする学習を充実させよう

社会的事象の意味等について、対立と合意、効率と公正、分業と交換等に着目して、多面的・多角的に考えたり、よりよい社会の構築に向けて複数の立場や意見を踏まえて根拠に基づき公正に判断したり、学習の結論とその結論を導き出した過程等を表現したりすることができるようにする。

2 主体的・対話的で深い学びを引き出す社会科の学習指導

学習の問題を追究・解決する活動を通して、公民としての資質・能力の基礎を養う

主体的な学びに向けて

- 生徒が学習課題を把握し、その解決への見通しをもてるようにしよう。
- 生徒の興味・関心を生かし、生徒自らが問題を見付けられるように単元構想を工夫しよう。
- 学習内容や活動に応じた振り返りの場を設定して、生徒が表現できるようにしよう。

対話的な学びに向けて

- 自分の思いや考えをいかに表現するかを、生徒自身によく考えさせよう。
- 実社会で働く人々が連携・協働して社会に見られる課題を解決している姿を調べたり、話を聞いたりする活動を充実させよう。
- 個を生かすグループ学習や個別学習等、多様な学習形態を取り入れよう。

深い学びに向けて

- 社会的な見方・考え方を働かせた、考察、構想や、説明、議論等の学習活動が組み込まれた、課題を追究したり解決したりする活動を設定しよう。
- 用語・語句等の知識だけでなく、社会的な事象等の特色や意味等を含めた社会の中で汎用的に使える概念等に関わる知識を獲得できるようにしよう。

評価を次の学習につなげる

- 指導目標を明確にし、分析的な観点別評価を重視した評価規準や評価方法を具体化しよう。
- ノートやワークシート、ポートフォリオ、学習計画表等の記述内容や発言内容を把握するなど、生徒の学習の状況を的確に評価できる評価方法を選択するとともに、評価の時期や場面についても工夫しよう。
- 生徒自身が成長を実感でき、学習改善につなげられるように、自己評価や相互評価の方法を工夫しよう。
- 客観的で信頼性のある評価を目指すとともに、評価の結果を学習指導の改善に生かそう。

I C Tを積極的に活用しよう

- 情報を「集める」「読み取る」「まとめる」の場面で、1人1台端末、大型掲示装置等を有効に活用し、問題解決型学習の充実を図ろう。

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業の工夫・改善（中2 近現代の日本と世界）

身に付けさせたい力等

- ・ 欧米諸国における革命、アジア諸国の動き等をもとに、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解できる。
- ・ 欧米諸国における工業化の進展と政治や社会の変化等に注目して、事象を相互に関連付けるなどして、欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動きについて近代社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現することができる。
- ・ 近代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする。

活動例 <単元全体を通して、I C Tを活用しながら、近代の日本と世界について話し合う。>

- ・ 1人1台端末を活用して、学習支援ソフトを用いて配付された説明資料を見たり、文書作成ソフトに要点を記録したりして、学習内容の概要を把握する。
- ・ 小グループを構成し、プレゼンテーションソフトを使って「近代初期における欧米諸国の動きと出来事」とその影響が分かる資料を共同で編集して、作成する。
- ・ 資料を作成するにあたり、内容の正確性、論理性、分かりやすさ等について、各グループで話し合う。
- ・ 各グループが、プレゼンテーションソフトで作成した資料をもとに、発表を行う。グループ以外の生徒は、発表内容や発表方法に関する評価を行う。
- ・ 単元の「まとめの活動」で学習内容を振り返りながら、日本と世界の結び付きに伴う国の発展について疑問に思ったことを調べる。そして、文書作成ソフトを使用し、調べたことを自分の考えに生かしながらまとめる。